

IoTの発展を支える集積化システム

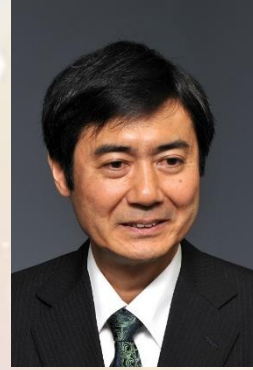
2019. 3. 10 (日) 13:30 ~ 東工大 大岡山キャンパス

IoT (モノのインターネット) により、センサからの単なる物理量検出から、新しい価値やサービスを生み出す試みが様々になされている。センサをはじめとするハードウェアよりの視点で、企業も含めた本分野トップランナーの方々から話題を提供して頂き、展望と今後重要な研究テーマについて議論する。

招待講演

平本俊郎 (東京大学)

「先端CMOSデバイスの技術動向とIoT」



板垣一美 (En Ocean GmbH)

「EnOceanエネルギーハーベスタ
無線スイッチ・センサと
今後のIoTの展望について」



岡部顕宏 (ノバルス)

「コネクテッドバッテリーで
広がるIoTの社会」



武田雅敏 (長岡技術科学大学)

「小電力デバイスへの給電を目指した
シート状熱電モジュールの開発」



中本裕之 (富士通研究所)

「電池交換不要のLPWA対応
小型センサデバイスの開発と応用」



藤森司 (日立製作所)

「微小エネルギーマネジメント技術で実現した
電池不要な環境発電型センシングシステムの開発と実証」

一般講演 (数件募集中)

企画：集積化MEMS技術研究会 世話人：佐々木実 (豊田工大), 日暮栄治 (東大),
<http://annex.jsap.or.jp/MEMS/> 町田俊太郎 (日立), 曾根正人 (東工大)

翌日3/11には関連の深い「エネルギーハーベスティングの新展開」のシンポジウム
があります。 <http://www.mesl.t.u-tokyo.ac.jp/jsap/eh.html>